



3月ほけんだよ

2024.3
社会福祉法人 寿康会
みらい保育園
看護師 浅倉和子

暖冬とは言え朝夕の寒さを感じる事もありますが、日中は暖かい春の日差しを感じられる様になりました。

3月はお別れの季節。みんなそれぞれのクラスとお別れして、上のクラスへ進みます。うきぎ組さんからほんだ組さん、さらにこあら組さん、ぞう組、きりん組へ進み、きりん組さんは卒園して、小学1年生になりますね。

1年を振り返ると、子供達はみんな身も心も大きく成長しました。

残りわずかな日々を大切に笑顔一杯で楽しく過ごして欲しいと思っています。

暖かさと共に増加するアレルギー症状について

アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎、アレルギー性皮膚炎 など...

この病気は赤ちゃんがかかる事は少なく2歳以上の子どものみられるとの事です。

1. アレルギー反応を起こすアレルゲンとして主に下記の物が挙げられます。
■ハウスタスト ■ダニ、ノミ ■スギ、ヒノキ等の花粉、■衣類等の繊維
■犬、猫等のペットの毛 ■小麦粉やそば粉 ■大豆、乳製品等...
2. 両親が何らかのアレルギーの体質を持っている場合はアレルギー疾患にかかりやすい傾向があります。
3. アレルゲンの除去が治療になりますがアレルゲン候補がしぼれない事も多くほとんどの場合(そば、大豆、乳製品等の食品以外)完全な除去は困難です。
4. アレルゲンの除去に熱心になるあまり、赤ちゃんや子どもの遊具などを制限したり/日中掃除をしたりする必要はありません。
無理のない対策をとりましょう。
5. かゆみの為、皮膚をかきこわさない様、爪は短く切っておきましょう。
6. アレルギー反応がひどい時には医師の判断で抗アレルギー薬や抗ヒスタミン剤等が処方されます。
7. 大人に処方されたお薬を、赤ちゃん、子どもに使ってはいけません。子ども用に処方されたお薬も医師の指示を守って使用します。

